

## 第6回瑞穂町行政評価委員会 次第

日 時 平成24年3月29日(木) 午前10時

場 所 瑞穂町民会館第2会議室

1 開会

2 議題

(1) 平成23年度事務事業評価シートの外部評価の評価方法について

(2) 平成23年度事務事業評価シートの外部評価の対象事業について

3 その他

## 行政評価委員による「事務事業評価シート」の外部評価について（案）

1 目的	<p>町で作成している「事務事業評価シート」を行政評価委員に外部評価していただくことにより、行政評価の客観性を維持し、長期総合計画の実効性の確保及び効率的な行政の推進に資するとともに、住民に説明する責務を全うさせるものである。</p>
2 経緯	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成16年度 「平成17年度事務事業評価シート」を作成するとともに予算編成に活用した。</li><li>・平成20年度 住民等で構成する行政評価委員会を設置した。</li><li>・平成22年度 行政評価委員から提言をいただき、「事務事業評価シート」を改良した（改良した事務事業評価シートは平成23年度から反映） また、平成22年度から、次年度の「事務事業評価シート」ヒアリングや予算査定の見学会を実施した。</li></ul>
3 内容	<p>行政評価委員により、「平成23年度事務事業評価シート」の評価方法及び評価対象事業（6事業程度）を選出いただき評価、いただいた提言等を「平成25年度事務事業評価シート」に反映させたい。</p>
4 予定	<ul style="list-style-type: none"><li>・事前に行政評価委員に、村山委員長と事務局で選定した12事業の「平成23年度事務事業評価シート」を配布</li><li>・平成24年3月29日 行政評価委員会で、評価方法、事業数等を検討いただいた後に、評価対象事業を6事業程度に選定していただきたい。</li><li>・平成24年6月 委員会を2つに分け、行政評価委員会を開催し、3事業程度ずつ評価していただきたい。評価については、単に継続、拡大、廃止等を評価するのではなく、各事業の提言を幅広くいただくものとしたい。 評価時間は1事業30分程度（各課の説明5分、質疑10分、提言10分）としたい。</li><li>・平成24年8月 「平成25年度事務事業評価シート」の作成時に行政評価委員の提言等を反映させたい。</li></ul>

# 「平成23年度事務事業評価シート」 外部評価の方法（案）

事前に村山委員長と事務局で、「平成23年度事務事業評価シート」から12事業を選定しました。

（12事業選定の理由）

- ・住民生活に関わりのある事業を選定
- ・企画部、住民部、福祉部、都市整備部、教育部から対象事業に偏りのないように各部2、3事業を選定

3月29日の行政評価委員会では、6月に行う外部評価の対象事業、評価方法を決定したい。

## 【事務局案】

対象事業	12事業の外部評価を実施すると、会議時間が2時間以上と なってしまうため、さらに6事業程度に選定していただきたい。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・委員会を2つに分け3事業程度ずつ評価していただく。</li><li>・会議時間を概ね2時間とし、1事業30分程度の評価時間としたい。（各事業説明5分、質疑10分、提言10分）</li><li>・行政評価委員会で、事業の継続、廃止等を評価するのではなく、いただいた提言を「平成25年度事務事業評価シート」に反映させることとしたい。</li></ul>

# 1 2 事業一覧

No	平成23年度事務事業名	担当部	担当課
1	海外留学奨学資金等の支給	企画部	企画課
2	ホームページの作成・更新事務		秘書広報課
3	窓口業務	住民部	住民課
4	長岡地域施設の整備		地域課
5	ごみ収集とごみ対策事業		環境課
6	保育園運営業務	福祉部	福祉課
7	福祉バス運行事業		高齢課
8	がん検診事業		健康課
9	公園・緑地の整備及び維持管理	都市整備部	建設課
10	企業誘致事業		産業課
11	学力向上事業	教育部	指導課
12	住民との協働による事業		社会教育課

## 1 2 事業要約

No	平成23年度事務事業名	担当部	担当課	事業内容・目的	平成23年度の総括評価	査定後予算	
1	海外留学奨学資金等の支給	企画部	企画課	国際的な視野に立ち、町及び社会に貢献する人材の育成に寄与することを目的としている。 町の青少年で、積極的に海外の学校で学芸及び技能を修得しようとする方に対し、その奨学資金と渡航費用の一部を支給する制度である。 受付期間を第1期と第2期に分け、受付期間終了後、瑞穂町海外留学生選考委員会において、書類審査等によって選考され、その後に支給となる。	D	前年どおりの維持	450万円
2	ホームページの作成・更新事務		秘書広報課	コンピュータの普及と情報ネットワークの進展は、社会の仕組みに大きな変革をもたらしている。国や地方公共団体は、これらの情報ネットワークを積極的に利用し、より良い住民サービスを提供するため、急速に普及するインターネットを利用した町民への行政サービスを推進することが求められている。このような状況から、住民サービス向上を図るため、住民が必要な情報を必要な時に入手できる生活基盤整備の一環としてホームページを開設している。 ホームページには、町の概要や各課のお知らせ、町の行事などの情報を掲載している。また、掲載内容についての随時更新については、全て担当職員が行っている。メールの活用（「町長への手紙」「各課へのお問い合わせ」）により住民の声を町政に反映させているところである。また、当事業の財政的負担軽減のため、バナー広告を導入している。	B	前年度予算を超えて事務事業の新設・拡大を行う	105万9千円
3	窓口業務	住民部	住民課	上記根拠法令等に基づき、市町村を構成する住民からの住所及び戸籍の異動等に係る届出等に基づいて、住民記録を整備し、住民の住所等を住民基本台帳等に記録することにより、各種の行政事務処理の基礎とし、常時、人口、世帯数及び人口動態の状況等を把握し、住民票の写し等の交付や住民基本台帳カードの交付等住民サービスの向上を目指す。 外国人登録は、日本に在留する外国人の登録を実施することによって、外国人の居住関係及び身分関係を明確にし、公正な管理に資することを目的とする。 窓口業務は、平日開庁時間内に来られない方への来庁者サービス向上のため、毎週木曜日に窓口時間を午後8時まで延長、他にも電話予約及び郵送による請求等も受け付けている。	C	前年度予算内で事務事業の新設・拡大を行う	962万1千円

No	平成23年度事務事業名	担当部	担当課	事業内容・目的	平成23年度の総括評価	査定後予算	
4	長岡地域施設の整備	住民部	地域課	<p>横田飛行場の設置・運用により住民の生活環境等に特に影響を受けている長岡地区において、長期総合計画との整合性を図りながら、民生安定事業を用い、住民の多様なニーズにあった概ね5か年の統合的な整備を行うことを目的とする。整備計画として、住民交流の場、「行政サービスの向上」と「地域活動の維持・活性化」の拠点となるコミュニティ機能や生涯学習機能、役場の連絡所機能を備えた複合型施設の設置と、主体的活動によるコミュニティ形成の場として有効活用を図る。</p> <p>総工事費：5億2千万円 施設内容・規模については、長岡地域施設設置協議会で検討した。</p> <p>主な施設予定 気軽に利用できるロビー 大会議、ダンス練習、地域行事に利用できる体育館機能を持った多目的ホール 医療用トレーニングマシンによる体力維持・健康増進ができるトレーニングルーム 学習室 調理講習等や災害時の台所として利用できる実習室 趣味や稽古場、災害時の一時避難所として利用可能な和室 図書室 役場連絡所機能（住民票、戸籍謄本・抄本、印鑑証明等及び税務諸証明発行事務） 各施設の貸し出しと事業・行事を計画する事務室を配置する。</p>	B	前年度予算を超えて事務事業の新設・拡大を行う	4億4,915万8千円
5	ごみ収集とごみ対策事業		環境課	<p>一人あたりのごみ排出量を減らすとともに、資源化率を向上させることにより、ごみの減量を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般廃棄物処理基本計画策定</li> </ul> <p>西多摩衛生組合の構成市町で基本部分を統一した基本計画として策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物減量等推進審議会</li> </ul> <p>ごみの減量及び再利用の促進に関する事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源物集団回収の充実</li> </ul> <p>資源物集団回収を奨励し、資源の大切さを啓発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別収集体系の堅持</li> </ul> <p>適切な分別方法を研究するとともに、住民が分かりやすく、使いやすいごみカレンダーと分別事典を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ収集委託</li> </ul> <p>委託業者に対して、適正な人員・車両配置や収集員の資質の向上を指導する。</p>	D	前年どおりの維持	1億9,453万4千円

No	平成23年度事務事業名	担当部	担当課	事業内容・目的	平成23年度の総括評価	査定後予算	
6	保育園運営業務	福祉部	福祉課	<p>瑞穂町には公立2園、私立5園の認可保育所があり、7園すべてが民間の運営となっている。民間活力の導入により保護者ニーズに柔軟に対応するとともに、法人のノウハウ、活力を活かし町全体の保育サービスの拡充につなげる施策を考える必要がある。</p> <p>平成23年4月より、とのがや保育園が開園したことにより、7園となった。</p> <p>事業構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長会議（年6回及び随時）...各園の取り組み、待機児童対策、気になる子への対応、町事業への参加等について、情報提供及び意見交換を実施。</li> <li>・給食研究会（年1回）...コミュニティセンターにて、認可保育所及び認証保育所の調理員等を対象に、講師を招きアレルギー対応や栄養バランスを考えた調理実習を実施。</li> <li>・子育て講演会（年1回）...新保育指針、工作、運動等について、講師による講演・実習を実施。</li> </ul>	D	前年どおりの維持	10億27万2千円
7	福祉バス運行事業	福祉部	高齢課	<p>高齢者や障がい者等が、住み慣れた地域で主体的に自立した生活を選択できる福祉の充実した地域社会を目指す目的から、交通不便地域における高齢者等の移動手段として、福祉バスの運行を実施。</p> <p>箱根ヶ崎駅西口を発着地に、町内福祉施設等を目的地として、町内に設置する停留所を2系統により福祉バスの運行を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 運行日 月曜から土曜日</li> <li>2 運休日 日曜・祝祭日及び年末年始（12月29日から1月3日）</li> <li>3 利用対象者 60歳以上の方、心身障がい者とその介助の方、妊婦の方、乳幼児・未就学児とその保護者の方、特別支援学級在籍児童・生徒とその保護者の方</li> <li>4 主な町内福祉施設等 ふれあいセンター、保健センター、子ども家庭支援センターひばり、高齢者福祉センター寿楽、心身障害者（児）福祉センターあゆみ、箱根ヶ崎・駒形富士山共同作業所、あすなる児童館、町立小・中学校特別支援学級、福祉作業所さくら等</li> </ol>	D	前年どおりの維持	2,652万3千円

No	平成23年度事務事業名	担当部	担当課	事業内容・目的	平成23年度の総括評価	査定後予算	
8	がん検診事業	福祉部	健康課	<p>平成20年度より健康増進法に基づき、がん検診を実施。平成19年4月に成立したがん対策基本法に基づき策定されたがん対策基本計画に沿うよう、がんの早期発見、早期治療を勧奨し、死亡率の減少をはかる。各種がん検診については指針に基づき以下のように設定している。なお、この検診は外でこれらの検診を受ける機会がない者を対象としている。</p> <p>【胃がん】対象は40歳以上の男女で、検診車によるバリウムレントゲン撮影を行う。定員は540人。</p> <p>【肺がん】対象は40歳以上の男女で、検診車によるレントゲン撮影と喀痰（カクタン）検査を行う。定員は370人。</p> <p>【乳がん】対象は前年度受診していない40歳以上の女性で、マンモグラフィ検査と視触診の検査を行う。定員は435人。</p> <p>【子宮がん】対象は前年度受診していない20歳以上の女性で、細胞診による検査を行う。定員は設けていない。</p> <p>【大腸がん】対象は40歳以上男女で、便潜血検査を行う。定員は設けていない。</p> <p>費用は乳がん検診を除いて全額町が負担する。</p>	D	前年どおりの維持	2,528万5千円
9	公園・緑地の整備及び維持管理	都市整備部	建設課	<p>「瑞穂町緑の基本計画」に基づき、都市公園法に定める町民一人当たりの公園標準面積（10㎡以上）の早期達成を課題として、計画的に整備をすすめる。公園・緑地の拡大をはかります。</p> <p>また、土地区画整理事業や大規模開発にともない、公園・緑地の確保をはかります。土地区画整理事業に伴う公園整備については、殿ヶ谷区画整理地内に3公園、箱根ヶ崎駅西区画整理地内に3公園の整備を予定しています。</p> <p>また、市街地の空閑地を利用してポケットパークなどの整備をすすめます。</p>	C	前年度予算内で事務事業の新設・拡大を行う	2億3,876万4千円
10	企業誘致事業		産業課	<p>圏央道や国道16号、新青梅街道などの幹線道路網が充実しており、企業が立地する上で有利な環境にある。</p> <p>活力あるまちづくりを目的とし「町民に対する多様な雇用の場の確保」・「まちの活性化・賑わいの創出」・「税収の確保」を目指し、企業誘致を促進する。</p> <p>事業構成 ・企業誘致事務...町のホームページ、東京都の産業立地ナビを活用し、情報を発信する。 的確に奨励措置の対象企業を審査する。</p>	D	前年どおりの維持	0円



No	平成23年度事務事業名	担当部	担当課	事業内容・目的	平成23年度の総括評価	査定後予算	
11	学力向上事業	教育部	指導課	<p>児童・生徒一人ひとりが、自分の夢や希望を実現するためには、社会の中で生きて使える確かな学力が必要である。そのためには、読み、書き、計算等の基礎・基本の定着が必要である。</p> <p>教育委員会では、児童・生徒の学力の定着に向け、これまで以上に学校教育の質的向上を図ることが必要と考えている。</p> <p>学力の向上を図るために、民間業者の学力調査を実施する。その結果に基づいた課題から授業改善策を検討し、授業改善推進プランを作成する。</p> <p>授業改善推進プランを日々の授業で実践し、学校全体で授業改善に取り組む。さらに、現在の瑞穂町の児童・生徒の課題として、漢字の書き取りや語彙力の低下がある。それらを補うため、また、意欲をもって漢字の習得等に取り組むために、漢字検定等を実施する。</p>	D	前年どおりの維持	4,523万8千円
12	住民との協働による事業		社会教育課	<p>町民が構成する組織的な団体等が、主体的に企画し運営する学習機会等を支援や奨励することにより、町民との協働事業の推進や団体等の自立を促進する。</p> <p>また、町で行われている社会教育活動の把握に努め、優れた活動を発掘し広めたり、同じ活動目的を持つ団体を結びつけたり、行政や他の機関との協働を推進するなど、側面的な支援・奨励を積極的に進める。</p> <p>・瑞穂町生涯学習推進のための住民提案型協働事業は、住民が組織するグループ、団体等（以下「団体」という。）と教育委員会が住民提案型協働事業を実施することにより、生涯学習の推進に寄与することを目的とする。</p> <p>・各種事業実行委員会の企画運営による事業の開催（総合文化祭、成人式、こどもフェスティバル等）は、同じ活動目的を持つ団体による協働事業の推進と公共の福祉の実現を目指す。</p>	C	前年度予算内で事務事業の新設・拡大を行う	362万6千円

## 外部評価対象事業 集計表

外部評価の対象事業としたい事業に  
をつけてください。

担当部	No	平成23年度事務事業名	をつけて ください
企画部	1	海外留学奨学資金等の支給	
	2	ホームページの作成・更新事務	
住民部	3	窓口業務	
	4	長岡地域施設の整備	
	5	ごみ収集とごみ対策事業	
福祉部	6	保育園運営業務	
	7	福祉バス運行事業	
	8	がん検診事業	
都市整備部	9	公園・緑地の整備及び維持管理	
	10	企業誘致事業	
教育部	11	学力向上事業	
	12	住民との協働による事業	